中学生でも解ける東大大学院入試問題(186)

2015-05-02 11:11:44

こんにちは。東久留米市の学習塾塾長です。

今日も良い天気になりました。天気図を見ると、たくさんの高気圧、低気圧、温暖前線、寒冷前線、停滞前線が日本列島の周りにあって、賑やかです。

さて、今回は平成20年度東大大学院工学系研究科環境海洋工学の入試問題です。

問題は

「A製品とB製品の所有者が、次のように製品を買い換えるものとする。A製品の所有者が、買い換えの際に、そのままA製品を選択する確率が α (0 < α < 1)、B製品を選択する確率が1 - α 、B製品の所有者のうち、B製品を選択する確率が β (0 < β < 1)、A製品を選択する確率が1 - β である。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 初めにA製品を所有していた人が2回目の買い換え後にB製品を所有している確率を求めよ。
- (2) 初めにA製品を所有していた人がn回目の買い換え後にB製品を所有している確率を求めよ。 」です。
- (2) を解いて、n=2 として (1) の答えを求めてもよいのですが、ここは順番に片付けていきましょう。

まず(1)です。A製品所有者のすべての買い換え過程を下図に示します。



▲図. A製品所有者のすべての買い換え過程

この図から判るように、 Λ 製品の所有者が 2 回目の買い換え後に、 B製品を所有するのは、 $A \to A \to B$ 、または、 $A \to B \to B$ で、それぞれの確率 P は、

 $p (A \rightarrow A \rightarrow B) = \alpha (1 - \alpha)$

 $p (A \rightarrow B \rightarrow B) = (1 - \alpha) \beta$

なので、初めにA製品を所有していた人が2回目の買い換え後にB製品を所有している確率Pは、

 $P = p (A \rightarrow A \rightarrow B) + p (A \rightarrow B \rightarrow B)$

 $= \alpha (1 - \alpha) + (1 - \alpha) \beta$ = (1 - \alpha) (\alpha + \beta)

で、これが答えになります。

次に(2)です。これは漸化式で解きましょう。

n回目の買い換え後にB製品を所有している確率を p (n)とします。すると、 n = 0 、つまり、初めにB製品を所有している確率は 0 なので、

$$p(0) = 0$$
 (1)

また、n-1回目の買い換え後に、 Λ 製品を所有している確率は1-p (n-1) 、B製品を所有している確率はp (n-1) なので、

が成り立ちます。

そこで、(2)を変形して、(特性方程式を使っても、気合で見つけてもどちらでもOKです)

 $p(n) - (1-\alpha)/(2-\alpha-\beta) = (\alpha+\beta-1)(p(n-1)-(1-\alpha)/(2-\alpha-\beta))$

ここで、(1)を(3)に代入して整理すると、

となり、これが答えになります。

試しに、p(2)を計算してみると、

 $p (2) = (1 - \alpha) (1 - (\alpha + \beta - 1)^2) / (2 - \alpha - \beta)$

= $(1 - \alpha)$ $(1 - \alpha^2 - \beta^2 - 1 - 2\alpha\beta + 2\beta + 2\alpha) / (2 - \alpha - \beta)$

= $(1 - \alpha)$ $(-\alpha^2 - \beta^2 - 2\alpha\beta + 2\beta + 2\alpha) / (2 - \alpha - \beta)$

 $= (1 - \alpha) (\alpha + \beta) (2 - \alpha - \beta) / (2 - \alpha - \beta)$

 $= (1 - \alpha) (\alpha + \beta)$

と先程の答えと一致しました。

今回は簡単な漸化式でしたが、複雑な漸化式もあるので、興味のある人は調べてみて下さい。

東<u>久留米の学習塾</u> 学研CAIスクール 東久留米滝山校 http://caitakiyama.jimdo.com/ TEL 042-472-5533